



憲政史上初となる女性総理大臣による 高市早苗内閣が誕生!!

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

本年10月、憲政史上初となる女性総理大臣による高市早苗内閣が発足し、重要閣僚として片山さつき財務大臣、小野田紀美経済安全保障担当大臣、自民党幹部人事でも有村治子総務会長、鈴木貴子広報本部長が就任するなど、女性活躍という面でも歴史的な変革をもたらした布陣となりました。

私も参議院厚生労働委員会与党筆頭理事として議事運営に大きな責任を持つ立場となり、身の引き締まる思いです。また、党務では総務会の副会長、総務部会の部会長代理を拝命いたしました。連立政権の方針や選挙協力のあり方など、政局をめぐっては様々な意見や憶測が報道等

で語られていますが、私の第一の使命は本年6月の「骨太の方針」に明記した「経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算」を次期診療報酬改定において着実に実行することと、医療・介護・福祉・こども子育て分野への大胆な支援策として補正予算編成や期中改定を目指して取り組みを進めていくことです。政局に左右されず、政策に邁進できるのもひとえに皆様のご支持があってのことです。

どうか変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

全身全霊で頑張ってまいります。



上野賢一郎厚生労働大臣と

参議院議員・医師 **自見はなこ**



安心の医療・介護・福祉・こども子育て

令和8年度の予算編成に向けた概算要求基準について

2025年8月4日、党政調全体会議にて、令和8年度の予算編成に向けた概算要求基準について、これまでと異なる基準が示され、経済・物価動向等を適切に反映した形での編成となることが明確化されました。「医療・年金」については、6月に閣議決定された骨太方針の通り、物価・賃金上昇が加算されることが明記されました。細かなところはこれからになりますが、大きな岩が動いたことには間違ひありません。しかし、物価高の中、来年度まで待てない、一刻も早く予算措置が必要な足元の現場があります。補正予算の早急な成立が何より必要です、引き続き力を尽くしてまいります。



参議院予算委員会理事懇談会に出席 (理事は2025年10月中旬まで)

終戦から80年が経ちました。惨禍が繰り返されはなりません。2025年8月15日に開催された参議院予算委員会の理事懇談会では、開会に先立ち戦争により亡くなられた方々に対し黙祷を捧げました。理事懇ではアメリカの関税措置について赤澤大臣より説明を受け理事らとの質疑応答が約一時間ありました。また、財務省理財局より森友文書の三回目となる開示が行われた旨報告がありました。

カトレア会 森山幹事長へ緊急要望を提出

2025年8月29日 カトレア会(自民党で中山太郎先生以来続く医療系の国家資格を持つ議員と関係団体の会:現古川俊治会長)で、自民党森山幹事長へ緊急要望を提出しました。 要望書全文はこちらから



臨床工学技士を支援する議員連盟 役員会を開催

2025年6月18日(水)「臨床工学技士を支援する議員連盟」初代会長である野田毅先生と現在の会長である加藤勝信先生のもと役員会を開催しました。本役員会では、臨床工学技士会から下記4項目についてヒアリングを実施いたしました。

- 告示研修の報告:臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修
- 「退院時共同指導料2」の算定における臨床工学技士の位置づけについて
- 医療機関における臨床工学技士長の配置等の改善について
- サイバーセキュリティ対策向上への取組の報告

続いて、厚生労働省 医薬局 医療機器審査管理課 高江慎一課長、ならびに医政局(医療情報担当)田中彰子参事官より医療分野におけるサイバーセキュリティ対策に関する厚生労働省の取組についてご説明をいただきました。

今後、秋の総会に向けて、さらなる政策提言を進めてまいります。臨床工学技士の皆様が賃上げの恩恵を受けながら、その高度な専門性を発揮し、より安全で質の高い医療が提供される社会の実現を目指して、引き続き全力で支援してまいります。

資料URL → https://drive.google.com/drive/folders/1Lt1PiXkzR8aQyJe8158IVCwYw8s2yA1D?usp=drive_link



介護支援専門員(ケアマネジャー)の更新制廃止について

2025年10月27日、社会保障審議会介護保険部会において、介護支援専門員(ケアマネジャー)の更新制および法定研修の見直しについて議論が行われました。ケアマネジャーにつきましては、専門知識の向上を目的として5年ごとの資格更新時に研修受講が義務付けられておりますが、一方で「時間的・経済的負担が大きい!」「更新時に研修を受講できないと直ちに資格を失ってしまう!」といったご指摘を多くいただきており、離職者が多く人手不足解消の観点からも私も同志の議員らと共に長年廃止に向けて働きかけをしておりました。今後、同部会での意見等も踏まえ、年内を目途に制度改正に向けたとりまとめが行われる予定です。

〈見直しの方向性(案)〉

- 研修の受講を要件とした資格の更新の仕組みは廃止する
- 引き続き定期的な研修の受講は求める(更新制と研修の紐付けがなくなり、研修の未受講で直ちに資格を失う取扱いがなくなる)
- 一定期間に分割して受講するなど柔軟な受講環境の整備を行うとともに、可能な限り時間数を縮減する
- 研修の受講を担保するため、事業者への必要な配慮を求めるとともに、現行制度の履行確保の仕組みも踏まえて、ケアマネジャー本人への必要な措置を講ずる



日本介護支援専門員協会20周年記念全国大会

政策の実現に取組んでいます！

超党派 脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟役員会を開催



6月5日(木)「超党派 脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟」役員会を開催いたしました。本役員会では、厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課より、「循環器病対策推進基本計画」の現状についてご説明をいただきました。続いて、団体より以下のとおりヒアリングを実施いたしました。

- ・日本循環器協会より、脳卒中・循環器病対策における研究費について
- ・日本脳卒中学会、日本循環器学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本心臓血管外科学会より、脳卒中・循環器病対策に関連する診療報酬について
- ・日本失語症協議会より、7項目にわたる要望のご提出

これまでの説明およびご意見を踏まえ、本役員会では、別添のとおり脳卒中・循環器病対策の推進に関する決議を行いましたので、会員国会議員と共有し、諸政策を進めて参りたいと存じます。本決議は、「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」2025、また今秋に予定している総会に向けた重要な方向性として位置づけております。今後も、超党派の国会議員の先生方および関係団体の皆様と連携を図りながら、実効性のある政策の実現に取り組んでまいります。引き続き、ご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



▲別添資料

義肢装具の未来を共に推進する議員連盟設立総会を開催

5月13日(火)「義肢装具の未来を共に推進する議員連盟」設立総会を開催いたしました。

本議員連盟にご加入、およびご参加いただきました先生方、並びに関係団体の皆様に心より御礼申し上げます。おかげさまで、34名の先生方にご加入いただき、今後の政策を進める上での推進力となります。



義肢装具をはじめとする補装具は、身体に障害のある方々の生活を支えるうえで欠かせないものです。日常生活や社会参加を可能にするだけでなく、疾病や負傷の治療にも重要な役割を果たしています。これらの補装具の採型や製作、適合には高度な技術と、医療・福祉に関する専門知識が求められます。そのため、国家資格であり、医療現場を支えるコメディカルスタッフの一職種である「義肢装具士」がこれを担っています。しかし現状では、義肢装具等は公定価格が定められており、物価や人件費の高騰が反映されにくいため、義肢装具士の処遇は厳しい状況にあります。年収の低さから離職者が増え、さらには義肢装具士を目指す学生も減少傾向にあります。2025年4月時点で、全国10校の養成校のうち2校が学生募集を停止しています。このままでは将来的に義肢装具士の人材不足が深刻化するおそれがあります。

こうした現状を踏まえ、今後、本議連を通じて、補装具制度の改善、義肢装具士の処遇向上、後進の育成支援など、実効性ある施策の実現に向けて取り組んで参ります。引き続き先生方のご尽力賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

国内から海外まで各地を訪問し現場の声を伺いました



2025年7月29日(沖縄県)
小規模離島の首長の皆様とともに「沖縄小規模離島におけるこども政策勉強会」を開催。沖縄の小児医療やオンライン診療の現状、小規模離島における絵本(月刊保育絵本)を活用した子育て支援について意見交換しました。



2025年8月31日～1週間
超党派「ILO活動推進議員連盟」の事務局次長として、バングラデシュおよびタイを訪問。両国の労働政策や労働環境に関する理解を深めることを目的に、現地関係者との意見交換を通じて多くの貴重な学びを得ました。



2025年9月7日
WHO GICC in TOKYO 2025 - Asian Childhood Cancerに出席。「2030年までに世界の小児がんの治癒率を貧富の差なく60%以上に向上させ、世界中の小児がん患者を救う」という高い目標を掲げています。



2025年9月10日
難聴対策推進議連の事務局長として、静岡県立総合病院での全国初の「聴覚障害児療育モデル施設」や静岡県立こども病院での地域全体を支える高度な小児医療の取り組みを視察しました。



2025年9月12日
【第5回 SaMD (サムディー) 産学官連携フォーラム】
私自身は、塩崎恭久先生に強力に後押しいただき、創設メンバーとして、このフォーラムには初回から毎回参加しています。今回は1700名の参加者となりました。



2025年9月14日
人口減少・過疎化が進む地域の医療・福祉の現場を視察。岐阜県飛騨高山における医療 MaaS (マース: 移動診療車) の実証導入を体験しました。



2025年9月17日
こども DX 推進協会 Meetup にお招きいただき、「こども基本法」について講演させていただきました。



2025年9月23日
アイヌ政策担当大臣を務めたことが縁となってお招きいただいたシャクシャイン法要祭に出席したほか、松下英樹自民党北海道9区支部長、小林ゆうじ道議会議員とともに、新ひだか町の突風被災地を視察しました。また、浦河赤十字病院を訪問し、医療・介護・福祉の関係者皆様方との意見交換会では、地域の深刻な窮状を細かくお話をいただきました。



国際博覧会担当大臣時に携わった

「大阪・関西万博」が閉幕！

大阪・関西万博閉会式に出席いたしました。10月13日、誘致決定から7年、184日間にわたり開催され、約2558万人にご来場いただいた大阪・関西万博が、大盛会にて遂に幕を閉じました。2年前に万博担当大臣を拝命し、この壮大なプロジェクトに携われましたこと、私の人生においてもかけがえのない時間となりました。幾多の困難が立ちはだかりましたが、その度に関係者の皆様、各国の皆様、国民の皆様のご期待にお支えいただき、前に進めることが出来ました。改めまして全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げます。この万博には、世界中の観智と技術、そして未来への希望が集められました。人々が国境を越えて心を通わせ、新たな絆を生んだことは、これから日本にとって何よりの財産です。



2025年10月13日 万博閉会式

万博会期中には開会式を始め、国連女性機関(UN Women)主催のレセプションやオランダ、フランスのナショナルデー午餐会など様々な国際イベントに参加。シグネチャーパビリオン(8館)や国内・民間パビリオン(9館)、海外パビリオン(16館+コモンズD)への視察も精力的に行い感謝を伝えました。



2025年3月29日
日本政府館 開館式



2025年3月29日
石黒浩様〈いのちの未来館〉



2025年4月12日
万博開会式



2025年4月28日
アメリカパビリオン



2025年4月28日
イタリアパビリオン



2025年4月28日
オランダパビリオン



2025年4月28日
クウェートパビリオン
(カフェレストラン SIDRA)



2025年4月28日
中国パビリオン



2025年4月28日
パソナグループ館
「PASONA NATUREVERSE」



2025年4月28日
よしもと waraii mirai 館



2025年4月28日
落合陽一様〈null²〉(ヌルヌル館)



2025年5月21日
オランダナショナルデー午餐会



2025年6月29日
オーストラリア シェパードセンター
パワー・オブ・スピーチ



2025年6月29日
オーストラリアパビリオン



2025年7月28日
中島さち子様
〈いのちの遊び場 クラゲ館〉



2025年7月28日
テーマウィーク
「アジェンダ2025」講演



2025年8月7日
サウジアラビアパビリオン



2025年8月7日
シンガポールパビリオン



2025年8月7日
スイスパビリオン



2025年8月7日
ガンダム館



2025年8月7日
大阪ヘルスケアパビリオン



2025年9月13日
フランスナショナルデー午餐会



2025年9月13日
ベルギーパビリオン



2025年9月13日
パナソニックグループパビリオン
「ノモの国」



2025年9月13日
河瀬直美様（Dialogue Theater
いのちのあかし館）



2025年9月13日
小山薰堂様（EARTH MART館）



2025年9月22日
イギリスパビリオン



2025年9月22日
チェコパビリオン



2025年9月22日
ブラジルパビリオン



2025年9月22日
福岡伸一様（いのち動的平衡館）



2025年9月22日
ウーマンズ パビリオン
国連女性機関（UN Women）トークイベント



2025年10月13日
夜の地球 Earth at Night 館



2025年10月13日
住友館



2025年10月13日
宮田裕章様（Better Co-Being 館）



2025年10月13日
バングラデシュパビリオン



2025年10月13日
セネガルパビリオン



「万博を終えて」の
メッセージ全文を掲載
長文になりますが
是非ご覧下さい。▶



難病こども支援「万博おでかけプロジェクト」を応援しました！

万博で難病のこどもや兄弟や家族が、共に素敵な時間を過ごせますように。もっと優しい日本になりますように。
との思いで、一般社団法人生命保険協会他ご協賛のもと、難病のお子様とそのご家族を1泊2日の大阪・関西
万博へ招待しました。ズームで現地とつなぎ、お話を伺いました。



患者さんの
紹介ページは
こちらから▶



みなさまの声にお応えできるよう取り組んでまいります。



2025年6月18日
公益的なオンライン診療を
推進する協議会（日本医師会館）



2025年6月28日
全日本病院協会総会



2025年7月3日
新潟県病院協会定時総会



2025年7月23日
河北総合病院見学
(東京都杉並区)



2025年7月30日
医療機器センター
設立40周年記念祝賀会



2025年8月20日
日本母乳バンク協会視察
(ビジョン東京本社)



2025年8月23日
九州医師会連合会総会
(福岡県福岡市)



2025年8月30日
第34回日本外小児科学会
年次集会（香川県高松市）



2025年9月7日
近畿医師会連合会総会
懇親会（和歌山県和歌山市）



2025年9月16日
更生保護施設・湧金寮視察
(福岡県北九州市)



2025年9月20日
一関医師会との意見交換会
(岩手県一関市)



2025年10月19日
津軽総合病院視察
(青森県五所川原市)

参議院議員・医師 じみ 自見はなこプロフィール

昭和51年2月15日 長崎県佐世保市生まれ
福岡県北九州市育ち

筑波大学第三学群国際関係学類卒業
東海大学医学部医学科卒業
東京大学医学部小児科学教室入局
同附属病院小児科勤務
東京都青梅市立総合病院小児科勤務
虎の門病院小児科勤務
東海大学医学部医学科客員教授
防災士

主な経歴

2016年 参議院議員選挙比例区（全国区）初当選
2019年 厚生労働大臣政務官
2020年 党青年局長代理
2021年 党女性局長
2022年 参議院議員選挙比例区2期目当選
内閣府大臣政務官
内閣府特命担当大臣
2023年 参議院予算委員会理事
自民党 社会教育・宗教関係団体委員長
自民党 新しい地方経済・生活環境創生本部事務局長
2024年 参議院厚生労働委員会筆頭理事
自民党 総務会副会長
自民党 総務部会部会長代理
自民党 地域未来戦略本部事務局長
自民党 外国人政策本部役員
自民党 社会保障制度調査会 こどもまんなか
保健医療の実現に関するプロジェクトチーム事務局長
自民党「こども・若者」輝く未来創造本部幹事長
2025年 (現職) 参議院議員選挙比例区（全国区）初当選
自民党 総務会副会長
自民党 地域未来戦略本部事務局長
自民党 外国人政策本部役員
自民党 社会保障制度調査会 こどもまんなか
保健医療の実現に関するプロジェクトチーム事務局長
自民党「こども・若者」輝く未来創造本部幹事長

公式ホームページで
最新の活動を
チェック！



じみ
自見はなこ事務所

自見はなこ 検索

<http://www.jimihanako.jp/>

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館504号室
TEL 03-6550-0504 FAX 03-6551-0504

西日本事務所

〒578-0935 大阪府東大阪市若江東町
4-2-5
TEL 06-6727-7007 FAX 06-6727-7008

北九州事務所

〒802-0077 福岡県北九州市小倉北区
馬借2丁目7番28号2階
TEL 093-513-0875 FAX 093-513-0876

「ひまわり会」入会 のご案内



「ひまわり会」は政治資金規正法上の政治団体です。
自見はなこの政治活動を支援するため、
ひまわり会への入会を募集しております。
詳しくは、自見はなこ事務所までお問い合わせください。

SNSで応援！

LINE ❤ 登録！
メルマガ登録もこちらから

